

第5次常滑市総合計画策定のための  
**とこなめ中学生まちづくり会議**  
**—開催記録—**

(平成27年1月5日開催)



常滑市  
平成27年1月

## 開催概要

### 1. 開催日

- ・平成27年1月5日（月）13:00～16:30

### 2. 会場

- ・市役所 5階第8会議室

### 3. 構成

- ・市内各中学校より推薦された生徒 各4名 合計16名

### 4. 内容

- ・下記についてワークショップを行う。

- ①「常滑市の“市の宝（良いところ）”と“問題点（悪いところ）”」
- ②「常滑市をもっと良くしよう！まちづくりの重点ポイント」

### 5. 目的

この会議は、市内の中学生が、常滑市について日頃から感じていることや考えていること、今後の常滑市について話し合い、①常滑市の“市の宝（良いところ）”と“問題点（悪いところ）”を見つけ出し、②常滑市の“市の宝（良いところ）”を伸ばし、“問題点（悪いところ）”を改善するための重点ポイントを整理し、提案することを目的としています。

提案していただいた内容は、現在、市で策定作業を進めている、今後のまちづくりの指針となる「第5次常滑市総合計画」の策定に当たっての参考資料とし、これからのまちづくりに活用していく予定です。



## スケジュール

- 13:00～ **1 開会**  
**2 あいさつ**  
**3 本日の趣旨、スケジュールの説明**  
**4 参加者の自己紹介等**
- 13:40～ **5 ワークショップ①** 【約 45 分】  
テーマ「常滑市の“市の宝”と“問題点”を見つけよう！」  
〈ステップ1:約 25 分〉意見(市の宝・問題点)カードへ記入する  
〈ステップ2:約 20 分〉“市の宝カード”と“問題点カード”を整理する
- 14:25～ 休憩 【約 15 分】
- 14:40～ **6 ワークショップ②** 【約 50 分】  
テーマ「常滑市をもっと良くしよう！ まちづくりの重点ポイント」  
〈ステップ3:約 10 分〉重点課題を3つ探す  
〈ステップ4:約 20 分〉重点ポイントを考える  
〈ステップ5:約 20 分〉発表の仕方を考える
- 15:30～ **7 成果発表** 【約 30 分】
- 16:00～ **8 閉会**

## ワークショップとは

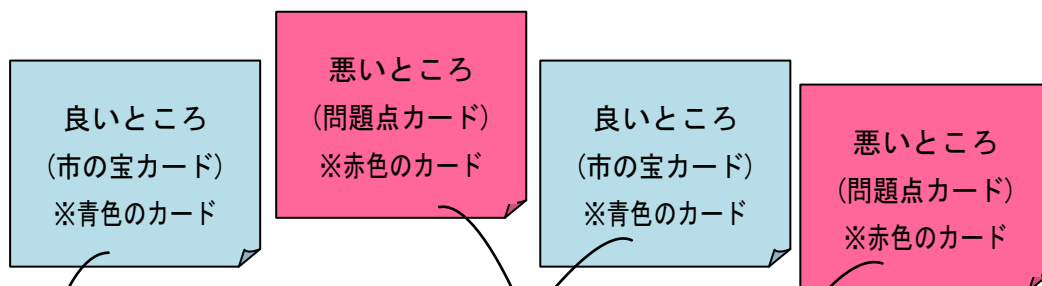
- ワークショップとは、アイデアを出し合い意思決定をする集まりで、会議の一種です。しかし、会議といっても、堅苦しいものではなく、和やかな雰囲気、楽しみながら参加者が自由に意見やアイデアを出し、話し合いながら成果をまとめ挙げていく検討方法です。
- また、まちづくりに関して、「市の考え方を一方的に説明する」だけのものではなく、中学生に、意見を出し合い、話し合っただき、地域や市の課題を発見するとともに、今後のまちづくりに反映させようとするものです。

# ワークショップ①:「常滑市の“市の宝”と“問題点”を見つけよう！」

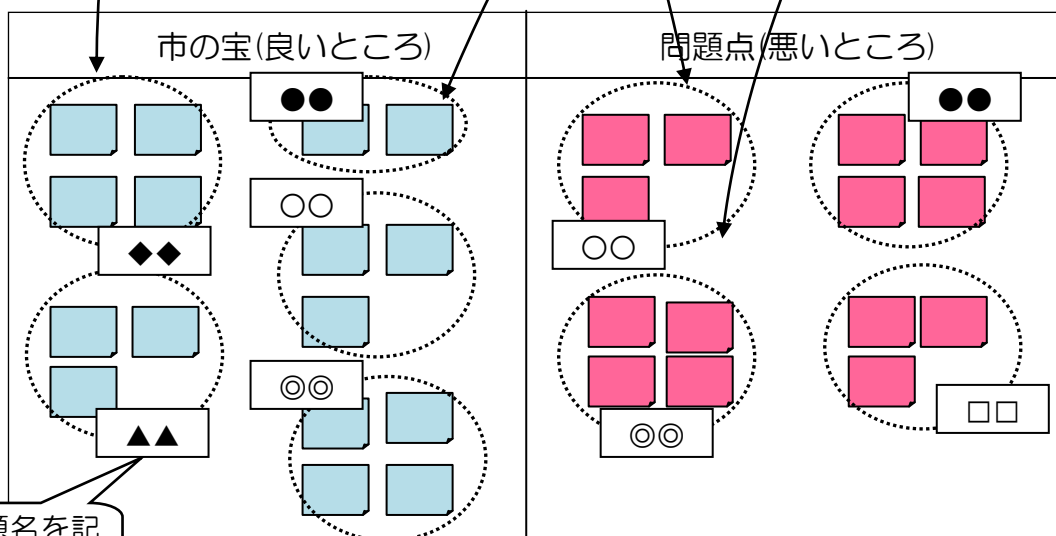
## ステップ1

### 意見(市の宝・問題点)カードへ記入する

- ・常滑市の“市の宝(良いところ)”や“問題点(悪いところ)”を見つけ出し、意見カード(宝カード・問題点カード)に書き出しましょう。
- ・記入した内容をグループ内で発表しましょう。



## ステップ2



### 市の宝カードと問題点カードを整理する

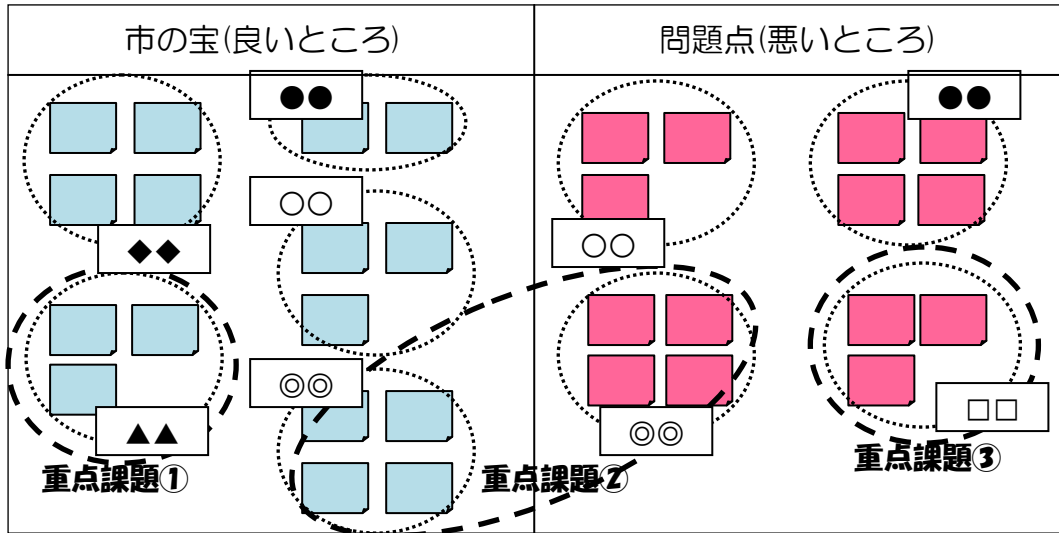
- ・記入した“市の宝カード”と“問題点カード”を模造紙に貼り付け、似た内容のカードを集めて整理し、そのひとまとまりを表現できる表題を付けましょう。

## ワークショップ②:「常滑市をもっと良くしよう!まちづくりの重点ポイント」

### ステップ3

#### 重点課題を3つ探す

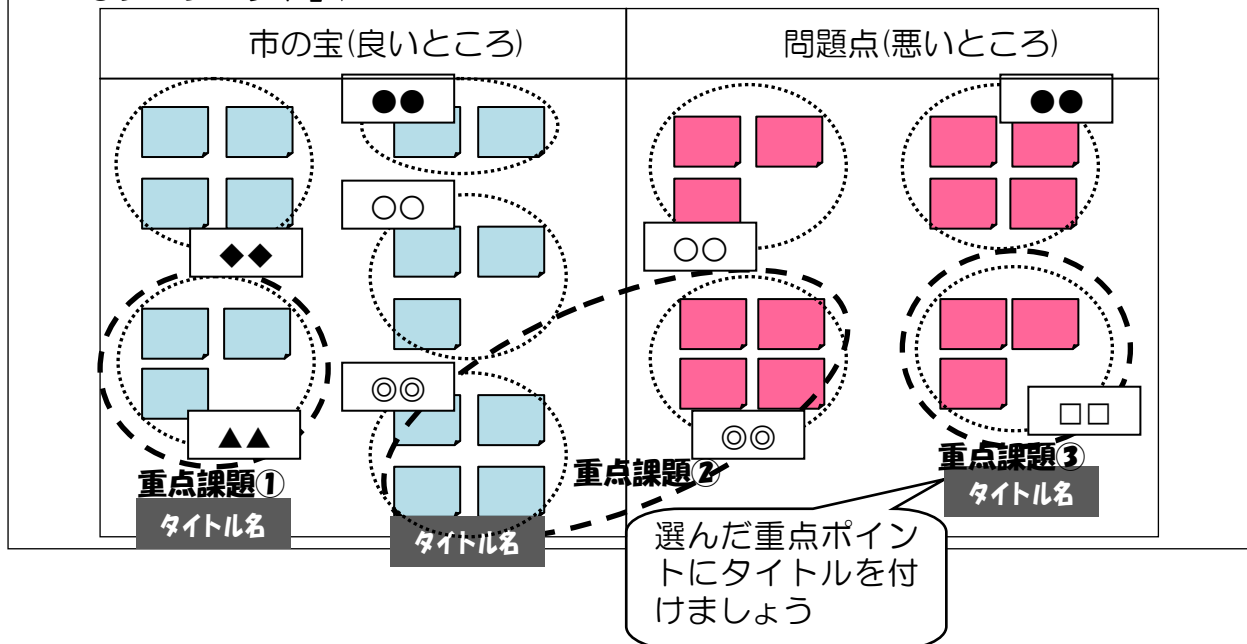
- 分けた分類の中から、重要だと思われる課題(今後も伸ばしていきたい“市の宝”、今後直していきたい“問題点”)を3つ抽出しましょう。



### ステップ4

#### 重点ポイントを考える

- 3つの重点課題について、“市の宝(良いところ)”を伸ばし、“問題点(悪いところ)”を改善するためにはどうしたら良いか(重点ポイント)を話し合しましょう。発表する内容としてまとめましょう。
- 重点ポイントには、それぞれタイトル名を付けましょう。(タイトル名のスタイル例:「〇〇なまちづくり」、「目指せ!〇〇なまち」、「〇〇で〇〇なまち」、「〇〇プロジェクト」)



# Aグループ



青海中学校	高橋 龍一 くん
鬼崎中学校	大宅 梨央 さん
常滑中学校	牧野 友海 くん
南陵中学校	守山 木乃芽 さん



市の宝（良いところ）

- 海が近いので楽しく BBQ をしたりできる
- コストコやイオンモールができ、観光客が増加する
- 焼き物のおかげで観光客が多い
- イオンなどができるので常滑に移住する人が増える
- のりなどの特産物がある
- 空港によって外国人も増えた

観光

- 空港があり世界とも繋がっている
- イベントが多い・有名人なども来る
- 空港があり世界とも繋がっている
- 空港があり移動がしやすい
- コストコ、イオン、空港、めんたいパークなど新しい施設が増えた
- 空港などが盛んだから、外国人が増えた

空港

- トコタンがいる（かわいい）
- セントレアのキャラクター（フーなど）がいる

キャラクター

町の特徴

- 市民病院が今年中にできるので、死亡する人が減る
- 昔ながらの街並みがいい
- 古くからある文化を残している（焼き物など）
- 緑が多い。自然がいっぱい
- 昔ながらの街並みが残っている
- 静かな街並みがいい

重点課題②

- 地域の皆さんがやさしい
- 人口が増えにぎわっている
- 地域の人たちが協力し合っている
- 近所の人全員やさしい

地域の人

- ごみ減少の呼びかけをしている（ごみ袋・ポスター）
- ごみを減らすことができている

ごみ

問題点（悪いところ）

- 市民病院が住宅地の中にあると救急車の音がうるさい
- 映画館欲しい
- 映画館がない
- 子どもが遊べる所が少ない
- コンビニが少ない（その他のもう少し遊べる所も）
- 中学校、小学校が古い
- 学校のまわりに何も無い
- 盛んな施設があるところと無いところがある

施設

- 道が整備されていないところがある
- 道が狭くて車で通れないところがある
- 南の方の交通手段が少ない

道路

- 常滑焼祭りなどのイベントを市外にもPRすべき
- 観光客の案内所が少ない
- 文化は守られているが、地域の人たちに広められていない
- 常滑市のPRが少ない
- まちに空港のようなにぎわいはない
- 空港があつて外国人が多く来るといのに、英語の案内や整備が整っていないところがある

観光

重点課題①

- 農業、漁業を受け継ぐ若い人がいない（外に出ていってしまつて、高齢化が進んでいる）
- 漁業や農業を継ぐ人がいない
- 高齢化が進み、若い人がいない

重点課題③

高齢者問題

- 津波の心配がある

災害



# Aグループ

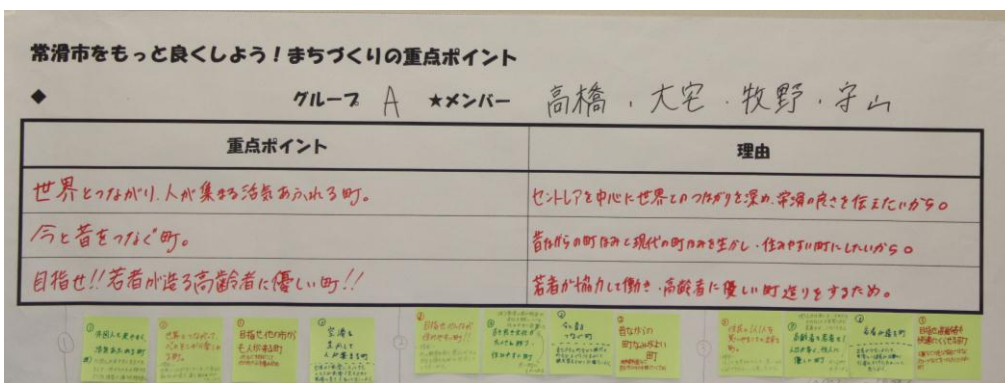
## ステップ4 重点ポイントの書き出し

- ・外国人も来やすく、活気あふれる町
- ・世界とつながって、心のそこから楽しめる町
- ・目指せ他の市からも人が来る町
- ・空港を生かして人が集まる町
- ・目指せみんなが住みやすい町！！
- ・古き良き文化がたくさん残り、住みやすい町
- ・今と昔をつなぐ町
- ・昔ながらの町なみがよい町
- ・住民の一人一人を思いやることの出来る町
- ・高齢者も若者も！人口が多く、住人に優しい町
- ・目指せ高齢者も快適にくらせる町



## 重点ポイント結果

重点ポイント	理由
世界とつながり、人が集まる活気あふれる町	セントレアを中心に世界とのつながりを深め、常滑の良さを伝えたいから
今と昔をつなぐ町	昔からの町なみと現代の町なみを生かし、住みやすい町にしたいから
目指せ！！若者が造る高齢者に優しい町！！	若者が協力して働き、高齢者に優しい町造りをするため





## 参加者の感想・まちづくりについて

- 中学生まちづくり会議をして今まで考えた事のないような事ばかり考える良い機会になりました。まちづくり会議をしてみても自分の考えている事とは違う事をグループの子は考えていると分かって、自分の案やアイデアがグループのみんなで話すと2倍も3倍もアイデアが良くなり、ふくらむことが分かりました。「9年後の常滑」というとても大きなテーマで考えたことは今まで無かったので今回の会議であらためて常滑の良い所となおした方がいい所が少しだけ分かりました。私が常滑市の中の悪い所だと思うのは高齢化が進んでしまっている事です。高齢化が進むことで若い人がいなくなり常滑の古き良き文化、常滑焼や農業が受け継がれないという問題が高齢化から発展していく問題だと分かりました。反対に常滑の良い所は昔ながらの町並みと、新しくできてきた建物が一緒になり、お年寄りも若者も暮らしやすいまちづくりをしている所が常滑市の良い所だと思います。今回、紙に自分たちで話し合いをした事をまとめることから、自分たちで考え出した良い所、悪い所を改善するためのまちの名前を決めることができ、自分が常滑市民としての意識が高まったのではないかと思います。この中学生まちづくり会議がもしかしたら常滑市の未来を考える時に参考になれるかもしれないので、今回だけではなく2、3回目も行った方がいいと思いました。
- 今回、私は常滑市の現状を深く知る事が出来ました。4校の代表者16名による、まちづくり会議は楽しく話しあうことで、自分の思っていることを発表できて、常滑市をもっとよくしていきたいという思いが、今までよりも、もっと強くなりました。私たちのグループは、主に「高齢化について」と「常滑市の昔ながらの町並みについて」話し合いました。高齢化については、老人ホームを増やしたり、階段ばかりではなく、スロープや手すりなどを設置して、高齢の人々が使用しやすいように取組していく必要があると考えました。常滑市の昔ながらの町並みについては、市民の人たちでも、常滑市の良い町並みなどを知らない人たちがいるので、まずは市民、市民の人たちに町並みを知ってもらう事が大切だと考えました。その他にも、中部国際空港に常滑市の紹介などを展示するという意見も出ました。今回、話し合ったことを、今後も参考にし、地域の取組を積極的に行っていきたいと思います。



## Aグループ

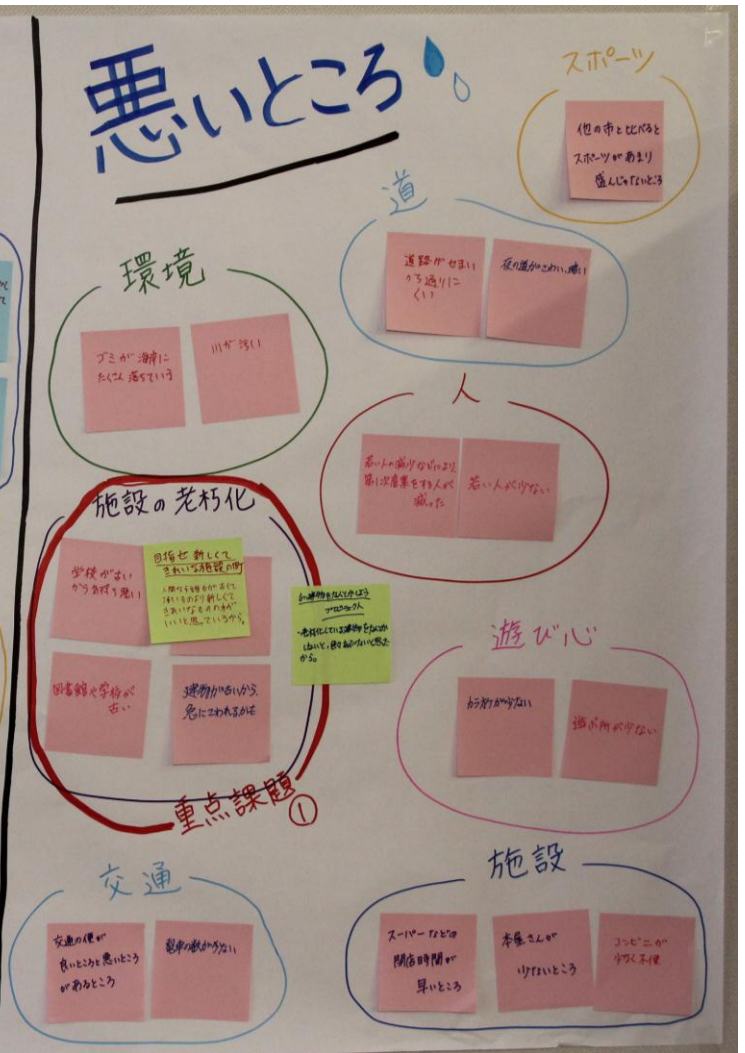
- 僕は今回のまちづくり会議に参加して、常滑のどこが良いか、どこが問題点なのかがはっきりとしました。例えば、常滑は昔の風景が色濃く残っているところが良い、中部国際空港があるというのに、まだ外国人に対する整備ができていない、などという問題点がわかりました。僕は今回の会議を通して、常滑には、人をひきつけるものはあるが、それを周りに伝えることが弱いと思いました。なので、もっと周りに常滑をPRできるようにすれば、もっと常滑が発展していくと思います。今回の会議では、他の中学校の同じ学年の人と常滑のことについてしっかりと話すいい経験になったと思います。僕はまだ14歳ですが、常滑に対して少しずつ目を向けていきたいと思いました。
- 僕は、この会議で市内の同級生たちとのワークショップを通じてとても良い刺激を受けることができました。グループのメンバーの意見に共感したり、「こういう考え方もあるんだな。」と学ぶことも多く大変良い経験になりました。まちづくりに関してのワークショップでは、空港ができたことにより、外国人の数が増えたことに対し、外国人向けの案内所やインフォメーションがまだまだ不足しているなどの意見が交わされました。僕たちは空港を生かし、活気ある町をつくるため、空港の利用者が常滑市内に1度立ち寄って、常滑の良さを知ってもらい、もう一度来たいと思える町をつくろうと考えました。また、少子高齢化の問題に関して、若者が少ないからこそ、若者の活躍する場を増やし、「若者がつくる高齢者に優しい町」をつくるべきであると考えました。若者と高齢者が“支え合う”ことで地域のつながりが強まり、地震などのいざという時に役に立つと考えたからです。常滑市の良いところは昔ながらの町並みと現代の町並みが共存していることだと思います。どちらも生かして今よりもっと観光に力を注ぎ、経済の面でも潤いのある町をつくっていったら良いと思います。また、僕自身も未来の常滑の発展に貢献できる人間になりたいと思いました。



# Bグループ



青海中学校	都築俊佑くん
鬼崎中学校	吉川海音さん
常滑中学校	冨塚日南々さん
南陵中学校	藪内脩太くん



ステップ1・2・3

市の宝（良いところ）

空港

- 空港が近くにあるので便利
- 空港がある
- 空港により外国人が増えた
- 空港があって世界とつながりがあるところ

重点課題②

文化

- 焼き物という自慢できることがある
- 山車まつりやお囃子という文化があってすごいと思う
- 焼き物が有名
- 伝統的な工芸品（焼き物など）を守り続けているところ

施設

- コストコやピアゴ、カインズとかがあって、買い物が便利
- コストコなどの便利なショッピングモールがある

トコタン

- 「トコタン」というかわいいキャラクターがいる

重点課題③

都市

- 都市すぎず、田舎すぎないところ
- 昔からある街並みと、新しく出来たところがある

ボランティア

- 交通ボランティアの方が道路に立って子どもたちを見守ってくれているところ

人口

- 集合住宅地が増えたため、人口が増加した

自然

- 空気がうまい

ごみ

- ごみ減量に努めているところ

問題点（悪いところ）

環境

- ごみが海岸にたくさん落ちている
- 川が汚い

道

- 道路がせまいから通りにくい
- 夜の道がこわい、暗い

スポーツ

- 他の市と比べるとスポーツがあまり盛んではないところ

重点課題①

施設の老朽化

- 学校が古いから気持ち悪い
- 図書館や学校が古い
- 建物が古いから急に壊れるかも
- 学校が古いところ

人

- 若い人の減少などにより、第1次産業をする人が減った
- 若い人が少ない

遊び心

- スーパーなどの閉店時間が早いところ
- 本屋さんが少ないところ
- コンビニが少なく不便

交通

- 交通の便が良いところと悪いところがあるところ
- 電車の数が少ない

施設

- カラオケが少ない
- 遊ぶところが少ない



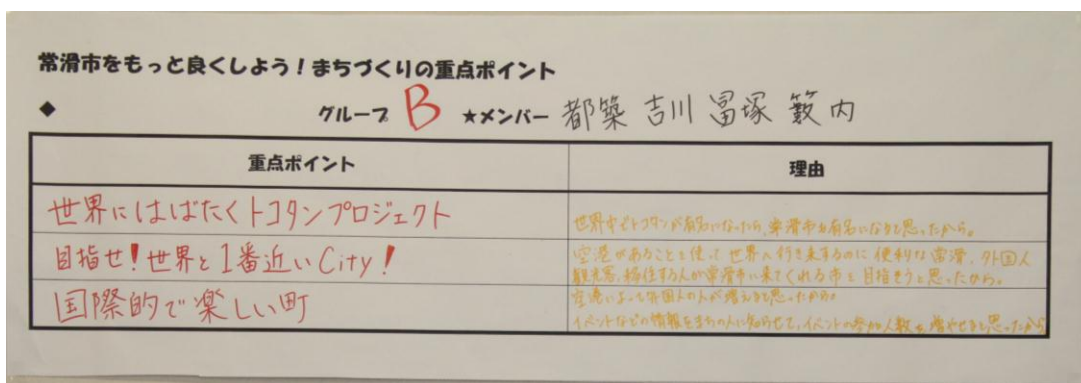
## ステップ4 重点ポイントの書き出し

- 世界にはばたこうプロジェクト
- 中部国際空港PRプロジェクト
- 国際的で楽しいまち
- New 発想！New 感動！New 常滑！
- 目指せ！世界と1番近いCity！
- トコタン進出プロジェクト
- トコタンPRプロジェクト
- 世界にはばたくトコタンプロジェクト
- 目指せ新しくてきれいな施設の町
- 古い建物をなんとかしようプロジェクト



## 重点ポイント結果

重点ポイント	理由
世界にはばたくトコタンプロジェクト	世界中でトコタンが有名になったら、常滑市が有名になると思ったから
目指せ！世界と1番近いCity！	空港があることを使って、世界へ行き来するのに便利な常滑。外国人観光客、移住する人が常滑市に来てくれる市を目指そうと思ったから
国際的で楽しい町	空港によって外国人の人が増えると思ったから。イベントなどの情報をまちの人に知らせて、イベントの参加人数を増やせると思ったから



### 参加者の感想・まちづくりについて

- 僕は中学生まちづくり会議に参加して、常滑市の良いところや悪いところを改めて知ることができました。良いところの例は、国際空港がある、コストコなどの大きなショッピングモールがある、トコタンという可愛いキャラクターがいるなどがありました。逆に悪いところの例は、学校・施設が古い、ゴミが多い、道路が狭いなどがありました。学校・施設が古いことを他の中学校の人たちも思っていて、「だよな」や「うんうん」と共感できました。なので、今後のまちづくりに関しては、常滑市の小中学校とさまざまな施設をきれいに、新しくしてほしいと思います。そして、中部国際空港に来てくれる外国人の方々に「ここに住もう」や「ここに住みたい」と思ってもらえるようになれば良いと僕は思います。また、常滑を少しでも多くの人に知ってもらうためトコタンをゆるキャラグランプリで上位になれるようにしてほしいと思います。僕たち若い世代の意見が言えて、とても良い会議だったと思います。
- この会議に参加して感じたことは、色々な世代の視線から見ると常滑はまだ市民全員が快適に過ごすことができるまちではないということです。けれど、その“足りないところ”を考えることでもっとよいまちになるとも思いました。セントレアができたことは常滑市にとって、とても大きなことです。セントレアができたおかげで外国人観光客も増え、世界と常滑をつなぐ窓口ができました。しかし、本当に大切なのはまた来たいと思える常滑にすることができるかだと思います。例えば、言語がちがっていても不自由なく過ごせるかを追求していけば、このまちはもっとよくなることでしょう。私が思う常滑のいいところは「ほどよい田舎」といえる点です。コストコ、セントレア、来年にはイオンもできます。だんだんと便利になっていく一方で自然は守り続けられています。常滑焼も受け継がれています。そこが私は好きです。これからも伝統は受けつぎ、さらに進化していく常滑になってほしいです。私はこの会議に参加できて、とてもよかったです。私たち、中学生の視線から見た常滑の良いところと悪いところが少しでも今後の常滑市の飛躍につながっていけばいいな、と思いました。本当に目指すべき常滑は“だれもが快適に、楽しく過ごせる町”にすることだと私は思います。10年後20年後も市民の笑顔があふれるまちであってほしいです。



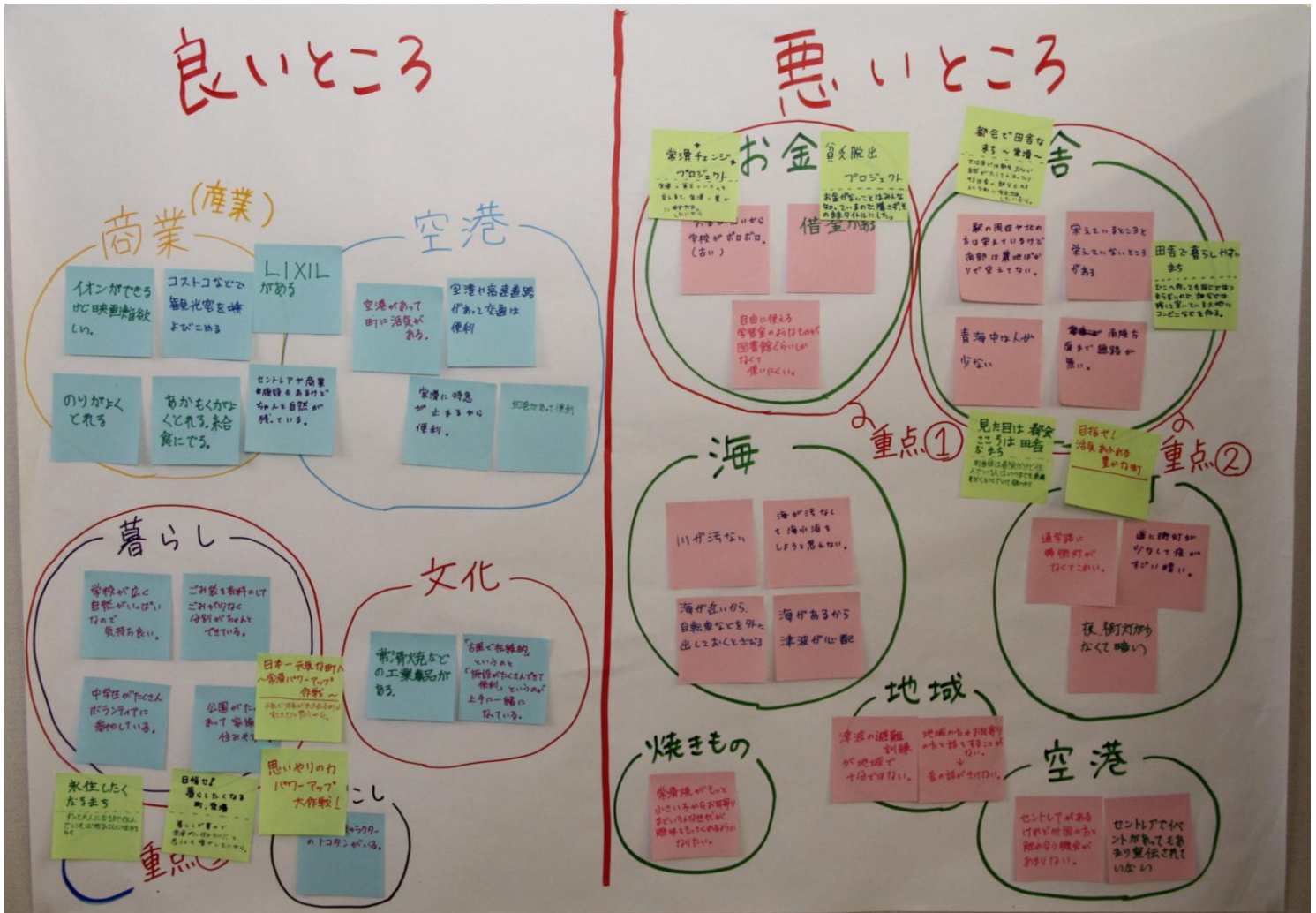
- 他の中学校の人との交流は、いつもの自分が出るか少し心配だったし、ちゃんとグループで話し合えるか不安でした。自分の知らない人たちだらけなのに、自分の意見を言えるかも、心配でした。その不安と心配をかかえたまま、会議がスタートしました。でも、少しずつ少しずつ、会話を重ねていくうちに自然と交流ができました。僕は正直、今後の常滑市のことなんて考えたことはありませんでした。でも、この会議で真剣に考えてみると、とっても重要なことだなということに気付きました。中部国際空港があることで、少しは有名だと思いますが、もっと、日本各地に有名なことが広がるようにするためには、中部国際空港をもっと全面的に出した方がいいんじゃないのかなと僕は思いました。そうすれば、中部国際空港と常滑市が今よりも、もっと盛んな所になると思いました。それと、トコタンをゆるキャラとして、全国的に活躍したら、さらに良くなると思いました。そういった意見をグループで話し合うのは難しかったけど楽しかったです。最後に、グループ発表で、なんとかまとまって意見を出し合い、話し合っって一つの意見にまとめることは、簡単なことではないけど、とても大切なことだなと思いました。
- 私は、今回の会議に参加して常滑市についてたくさん知ることができました。最初は常滑について話し合おうと言われても、正直何を話すのだろうと思っていました。けれど、みんな意見を出し合っていくうちに、普段見過ごしているような事まで発見することができました。たとえば、常滑焼です。有名だということは知っていたけれど、日本六古窯の一つであり、千年もの長い歴史があるということは初めて知りました。他にも良い所はたくさんあって、これからたくさんの人に常滑について知ってもらいたいなと思いました。しかし、改善してほしい所もありました。学校や図書館などの施設が古いので、新しくしてほしいという意見です。歴史あるまちなので、建物が古くなっていくのはあたりまえですが、その歴史を守りながらみんなが住みやすいまちになってほしいなと思いました。今回出た意見が少しでも役に立てれば嬉しいです。



# Cグループ



青海中学校	加藤祐名さん
鬼崎中学校	齋田伸五郎くん
常滑中学校	千葉彩海さん
南陵中学校	岩田茉奈美さん





## ステップ1・2・3

## 市の宝（良いところ）

- ・イオンが出来るけど映画館が欲しい
- ・コストコなどで観光客を呼び込める
- ・リクシルがある
- ・のりがよくとれる
- ・あかもくがよくとれる。給食に出る
- ・セントレアや商業施設もあるけど、ちゃんと自然が残っている

## 商業

- ・空港があって、町に活気がある
- ・空港や高速道路があって交通は便利
- ・常滑に特急が止まるから便利
- ・空港があって便利

## 空港

## 暮らし

- ・学校が広く、自然がいっぱいなので、気持ち良い
- ・ゴミ袋を有料にして、ゴミが少なく分別がちゃんとできている
- ・中学生がたくさんボランティアに参加している

## 重点課題③

- ・常滑焼などの工業品がある
- ・「古風で伝統的」というのと「施設がたくさんできて便利」というのが、上手に一緒になっている

## 文化

- ・マスコットキャラクターのトコタンがいる

## まちおこし



## 問題点（悪いところ）

- ・お金が無いから学校がボロボロ
- ・借金がある
- ・自由に使える学習室のようなものが、図書館しかなくて使いにくい

## 重点課題①

## お金

- ・駅の周辺や北の方は栄えているけど、南部は農地ばかりで栄えていない
- ・栄えているところと栄えていないところがある
- ・青海中は人が少ない
- ・南陵方面まで路線が無い

## 重点課題②

## 田舎

- ・川が汚い
- ・海が汚くて海水浴をしようと思えない
- ・海が近いから自転車などを外に出しておくで錆びる
- ・海があるから津波が心配

## 海

- ・通学路に街灯が無くて怖い
- ・道に街灯が少なくて夜がすごい暗い
- ・夜街灯が少なくて暗い

## 街灯

- ・常滑焼がもっと小さい子からお年寄りまでいろんな世代が興味を持ってもらえるようになりたい

## 焼き物

- ・津波の避難訓練が地域で十分ではない
- ・地域の方やお年寄りの方と話をすることがない
- ・昔の話が聞けない

## 地域

- ・セントレアがあるけれど外国の方と触れ合う機会があまりない
- ・セントレアでイベントがあっても、あまり宣伝されていない

## 空港

## Cグループ

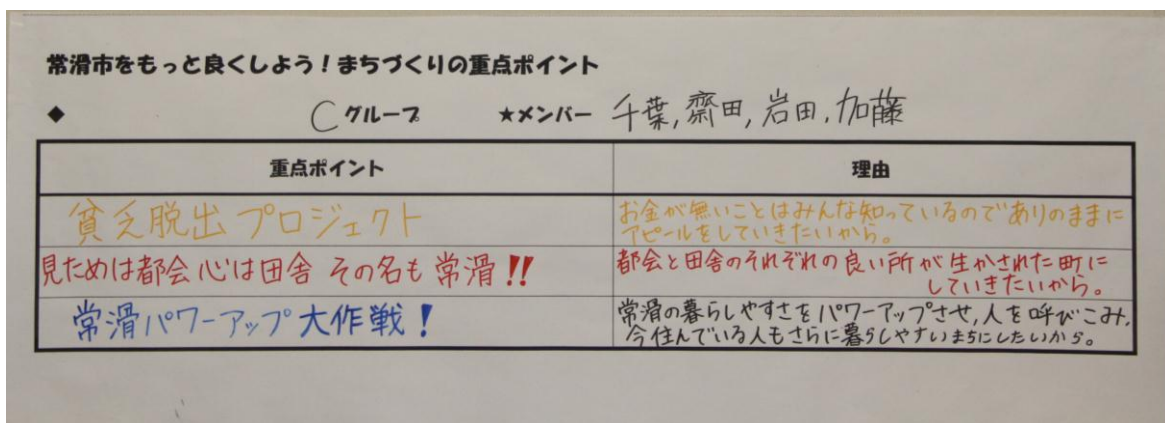
### ステップ4 重点ポイントの書き出し

- ・常滑チェンジプロジェクト
- ・貧乏脱出プロジェクト
- ・都会で田舎なまち～常滑～
- ・田舎で暮らしやすいまち
- ・見た目は都会 ころろは田舎なまち
- ・目指せ！活気あふれる豊かな町
- ・日本一元気な町へ～常滑パワーアップ作戦～
- ・思いやりの力 パワーアップ大作戦！
- ・目指せ！暮らしたくなる町、常滑
- ・永住したくなるまち



### 重点ポイント結果

重点ポイント	理由
貧乏脱出プロジェクト	お金が無いことはみんな知っているので、ありのままにアピールをしていきたいから
見た目は都会 心は田舎 その名も常滑！！	都会と田舎のそれぞれの良いところが活かされた町にしていきたいから
常滑パワーアップ大作戦！	常滑の暮らしやすさをパワーアップさせ、人を呼びこみ、今住んでいる人もさらに暮らしやすいまちにしたいから



## 参加者の感想・まちづくりについて

- 今回の中学生まちづくり会議に参加して、お菓子が食べれたり、ジュースが飲めたり、ほとんど初めて会った他校の人と話し合う、といういつも学校でやっている会議とは全く違う環境だったので、最初は緊張したり動揺したりしていましたが、話し合いを始めれば、自分とは違った新しい意見や、着眼点の違う意見が聞けて、自分1人では気づけなかったことや、まちづくりについての考えができ、とてもいい会議で、参加できてよかったです。僕は会議を通して、田舎のいい所は残して、都会のいい所はとり入れていったまちづくりが行われて欲しいです。常滑は、田舎と都会が共生している、住みやすいまちになってほしいです。
- 中学生まちづくり会議に参加して、自分の住んでいる常滑市についてもっと知ることができました。それまでは知らなかった総合計画という言葉聞き、固くて難しい会議なのかと思いましたが、ジュースやお菓子、私語OK！という普通の会議ではありえないような状況で、市の職員のみなさんにあたたかく迎えていただき、会議室の中でも、少しお話しする機会もあつたりと、とてもやわらかな雰囲気でも過ごしやすいかったです。ワークショップの時間になり、市の宝（良いところ）、悪いところについて話し合っているときは、やはり悪いところばかり思いついてしまいましたが、同じグループの女の子が良いところをたくさん見つけていて、他の学校の子と触れ合える機会があり、私の中でとても貴重な経験になりました。今回の会議は市内の4つの中学校の代表者だけが集ってやりましたが、代表者以外の中学生はもちろんのこと、小学生なども集まって会議をしたら、他の世代の意見も集まりいいと思いました。全員は無理かもしれませんが、アンケートや各クラスで話し合ったり、工夫をすればよりたくさんの人に意見を聞くことができると思いました。



## Cグループ

●常滑の良いところ、悪いところを再発見することができました。良いところも問題点もたくさんありました。南陵地区には線路が通っておらず電車が来ないということを初めて知りました。常滑の南のほうにはあまり行ったことがなく、コンビニなどが無い地域には空いている土地にお店を作ったりするといいと思います。プロジェクトなどの名前は市民の人たちもどんなプロジェクトかすぐに分かるような、はっきりした分かりやすい名前がいいと思います。空港があることで空港に働いている人が多くいるので、空港に近い地域に団地などを作ると常滑市の人口を増やすことができます。私はこれからも常滑に住みつづけたいと思っているので常滑がもっと住みやすいまちになっていけばうれしいです。

●常滑の4中学校の生徒が集まって話し合うという初めての貴重な体験ができてうれしいです。今までは「常滑」という自分の町について深く考えることはありませんでした。しかし、これをきっかけに自分達はこの町をこれからどうしていきたいのか、という大切なことを考え始め、それが少しずつ頭に浮かんできました。そして、16人も人が集まると「なるほど」と思う意見が出てきたり、注目しているポイントに偏りができて「みんな同じことを思っているんだ」と気づくことができました。今回のような話し合いは堅苦しくなく自分の意見を出しやすいです。なので、小学生から高校生までもっと広い層でもっと頻繁にまちづくり会議を開いてほしいです。私達のような世代が政治に携わることもないので「これからの常滑」について考える良い経験、きっかけだと思うし、新しい「気付き」もきっとでると思います。そしてセントレアがある町なので外国とのつながりが特別強い町になりたいです。空港があっても外国の方との交流は少ないように思います。なので、もっとその機会を増やし、お互いの国を知り、つながりを強くしたいです。常滑市が考える色々な企画にも、もっと私たち市民に親しみやすく興味を湧くようなセンスのいいネーミングを付けたいです。何年経っても「常滑で育って良かった」と心の中で誇りを持てる町にしていくため、私たち中学生からも元気を発信して、できることをがんばっていきたいです。



# Dグループ



青海中学校	竹内志奈さん
鬼崎中学校	高橋実愛さん
常滑中学校	齋田裕夢くん
南陵中学校	杉山豪くん



ステップ1・2・3

市の宝（良いところ）

自然

- 海があり、海水浴がある
- 松林が多い。環境が良い
- 海岸が多い。漁業が盛ん

重点課題①

- 資源回収が行われている。キレイな市になり、話すことによってコミュニケーションがとることができる
- 地域の取組にみんなが積極的。周りの人との交流が多くなる
- あいさつをしたら返してくれる人が多い
- 都会すぎでもなく、田舎すぎでもない。なんとなくいいごちの良いところ
- アダプトプログラムの団体、参加者数の増加。市をキレイにしようと努めている人が増えてきている

地域

- 空港があるため外国とふれあえるところがある
- 外国人の数が約2倍に増えている。空港ができ、外国との交流が栄えているので良い市だと思います

空港

- 犯罪が減っている。安心して暮らしやすい市
- 人口と世帯が増加。住みやすい市になってきている
- 従業員が増加・働く場所があり、暮らしに役立つ

人

- 昔からの焼き物が残っている。だからこれからも残していこうと思うし、歴史の勉強になる
- 常滑焼という世界に誇れるものがある

焼き物



問題点（悪いところ）

- 青海中は生徒数が少ない。体育祭や文化祭の盛り上がりが…

人

- 海が汚い

自然

遊び場

- コロナなどのところがいつもないから、つまらない。遊ぶといっても親がいないといけない
- 常滑の北側にはあまり子供が遊べる公園がない
- カラオケがない
- 野球とかできそうな広いグラウンドが学校以外ない

- 救急車の出動数の増加。不健康になりつつある

老化

- 市の借金が増加。改善しようとするのが改善することができない
- 学校の机といすが古くて木が足に刺さった。少しでも良いからキレイなやつも入れてほしい

お金

- 駅が遠い
- 道路がデコボコ

重点課題②

交通

- 常滑市の自己主張が少ない。セントレアがあるのに全く知られていない
- 情報発信力が少ない。芸能人が来てもわからない

重点課題③

情報

- 事業所の減少。就職難になりつつある

その他

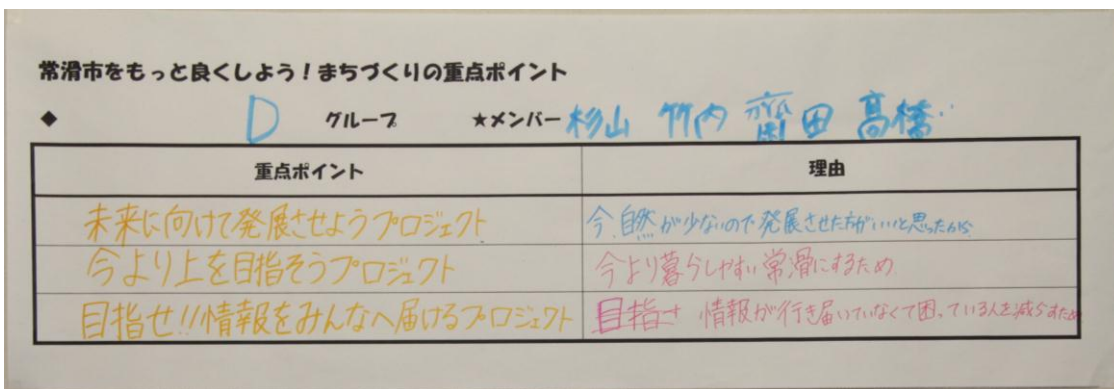
## ステップ4 重点ポイントの書き出し

- ・豊かな自然と最先端が共にある市
- ・みんなの気持ちで自然を守っていくまち！！
- ・目指せ！自然豊かできれいな街！！
- ・未来に残そうプロジェクト
- ・目指せ“キレイ”な町！
- ・今より上を目指そうプロジェクト
- ・目指せ便利な市
- ・目指せ交通に不便のないまち！
- ・未来に向けて発展させようプロジェクト
- ・目指せ！情報をみんなへ届けるプロジェクト
- ・目指せ情報サクサクな市



## 重点ポイント結果

重点ポイント	理由
未来に向けて発展させようプロジェクト	今、自然が少ないので発展させた方がいいと思ったから
今より上を目指そうプロジェクト	今より暮らしやすい常滑にするため
目指せ！！情報をみんなへ届けるプロジェクト	情報が行き届いていなくて困っている人を減らすため

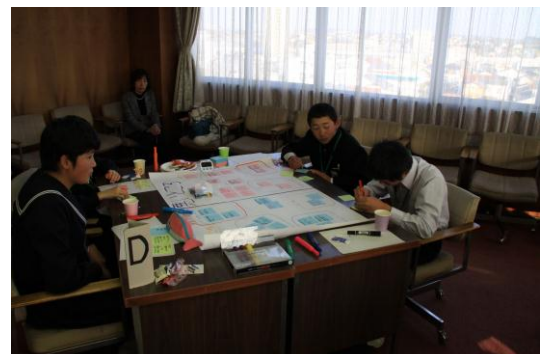


### 参加者の感想・まちづくりについて

- 今回のまちづくり会議に出席し、他の中学校の生徒と初めて意見交換をし、各中学校の意見があり、とても面白かったです。その学校の立場によって、こんな所が良いとか、こういう所があるからだめなのではないか、など、さまざま意見がでて、1つ1つが重みのあるものだと思います。一人一人に個性が出ていて海に近いからわかること、山に囲まれているからわかること、人数が少ないからわかることなどとても興味深く、話し合いがすごく早く感じました。中学生だけで行う会議は初めてということを知ったので、緊張していましたが、すぐに打ち解け自分の中学の代表として行くので、グループの仲間全員が自分の考えを持ち、ちゃんと主張していて、聞いている側でもあきることなく、聞くことができました。今後のまちづくりについて、私は、将来の都市像通り『世界に開かれた生活文化都市』を目標に中部国際空港をもっと盛えさせ、私たちは一斉清掃、海岸清掃を行いキレイなまちを目指し、一步一步、少しずつでもいいので前進することができたら素晴らしいまちになると思います。それと、発展させるだけでなく、常滑独自の風景、建物などもこの先ずっと残せるようにわがまちふるさと体験隊などのボランティアも増やしていければ、“見た目は都会 中身は田舎”を達成でき、環境に恵まれているまちになると思います。なので、今回の会議は私たちにとって有意義であり、常滑市にとっても、これからにとって有意義だと思います。
- ぼくは、この中学生まちづくり会議に参加しての感想は、楽しかったと勉強になったことです。楽しかったと思った理由は、ワークショップでの話し合いが楽しかったことです。この意見いいなと思ったら拍手をして盛り上がりやすくなるなど、話し合いがこんなに楽しかったことはたぶんはじめてだと思います。勉強になったことは、人の意見を聞き入れることの大切さです。ぼくは、よく母や姉にもっと人の意見を聞くほうがいいよと言われます。自分では意識しているつもりも無意識に自分の意見ばかり言っていたんだろうなと思いました。なぜそれに気づくことができたか、それはワークショップのルールで「自分ばかり話しません」「メンバーが話しているときは、耳を傾けます」ということを守ったことで気づけたことです。なので、これから話し合いの場では、人の意見をたくさん聞き入れることを大切にしたいと思いました。ぼくは、常滑市はもっといい市になるんじゃないかと思っています。理由は、市民の意見を取入れる活動を行っているからです。今回は、会議に出たのはごく一部の生徒だけです。だから意見もごく一部のものだと思います。よりよい常滑市になるようによい第5次常滑市総合計画を作ってほしいと思いました。



- まちづくり会議に参加し、他校の生徒と一緒にすることで、これまでに思わなかった意見が聞けてものすごく勉強になりました。最近では、コストコやめんたいパークなどの有名なところができ、観光客も年々増えてきているのですごく誇りに思います。でも私たちの住んでいる地区は、子供の遊ぶ公園が少なく、まだあまり発展していません。あったとしてもすごく暗く、危なくてなかなか入れません。そう考えるともう少し明るくて広い場所に建ててほしいです。その逆、いいところもたくさんあります。近所に住んでいる人はみんな顔見知りです。「おはようございます。」「いってらっしゃい。」「おかえり。」家族ではないのにこんなにあいさつをしてくれるのは、常滑だけだと思います。このことは将来、県外に行った時にも自信持って言えることです。このことがこれからもずっと続いていくためには、私も毎日絶対あいさつをします。あいさつをして悪い事はありません。良い事ばかりです。毎日が気持ちよく学校へ行けているということは感謝してもしきれないぐらいです。今後の常滑は「住みやすい市 No.1」を目指したいです。犯罪がなく、みんなで助け合い、ゴミの排出量が少ないそんな市にしていきたいです。この会議でもっと常滑市の役に立ちたいと思いました。
- 他の中学校の人たちと常滑市の今後について考えるというのは、とても珍しく、そして、とてもいい経験になったと思います。いつもあたりまえのように暮らしているこの常滑も、今回のまちづくり会議を通して色々な問題をかかえていることを知り、とても大変なんだなと思いました。常滑市の“市の宝”や“問題点”を探すワークショップでは、ささいなことばかりでしたが、そこそこ案が出ました。けれども、もっともっと真剣に考えたら、とても重要な案が出たのではと少し残念に思います。そして、ワークショップで出た案を分類ごとに分け、その中からさらに重点な課題を抽出し、その課題の重点ポイントを出すという所では、常滑市をどのようにしていけばよくなっていくのかを話し合いました。すぐに案はできましたが、こういったことを本気で考えている市議会の方々には、とても難しいことなのだろうなと思いました。今回のまちづくり会議で、自分は普段考えもしないであろうことを考えることができ、会議に参加してよかったと思っています。ありがとうございました。





とこなめ中学生まちづくり会議に参加いただき、ありがとうございました。第5次常滑市総合計画は平成28年度から36年度までの計画であり、今後将来を担っていく若い人たちの意見は、とても重要だと考えています。今回皆さんに出していただいた意見を参考にさせていただきます、これからのまちづくりについて検討していきます。

常滑市長 片岡 憲彦



第5次常滑市総合計画策定のための  
とこなめ中学生まちづくり会議  
—開催記録—  
平成27年1月

常滑市役所 企画部 企画課

〒479-8610 愛知県常滑市新開町4-1

TEL : 0569-35-5111 FAX : 0569-35-4329

E-mail : kikaku@city.tokoname.lg.jp